

面積: 149,998平方キロ
(北海道の約2倍)(全米50州中25位)
人口: 12,671,821人(2019年国勢調査概算)(全米6位)
(白人61.0%, 黒人14.6%, ヒスパニック17.4%, アジア5.9%)
(2019年国勢調査概算)
州都: Springfield 愛称: Land of Lincoln

イリノイ州概要



令和2年7月現在
在シカゴ総領事館

政治

【州政治】

- 知事: J.B.プリツカー(J.B. Pritzker)(民)
2019年1月就任, 現在1期目
- 議会構成: 二院制
上院議席数 59 民主党 40 共和党 19
下院議席数 118 民主党 74 共和党 44
- 内政状況:
イリノイ州は, 1992年以降大統領選挙で民主党候補が勝利しているブルーステート。他方, 人口が集中するシカゴ市圏以外の広大な農業地帯は共和党支持が強い。
州議会は民主党のマディガン下院議員が1983年~1995年及び, 1997年来議長を務めており, 圧倒的政治力を示している。2014年選挙で州の癒着改革を掲げて実業家のラウナー知事(共)が1期知事を務めたが, 州予算が2年度続けてまとまらない等議会を統率しきれず, 2018年選挙では, 大富豪のプリツカー(民)が圧勝し知事に当選した。同年, 州議会選挙にて, 共和党寄りの郊外富裕区の反トランプの波に乗り, 上下両院共に民主党がスーパーマジョリティを取り戻した。連邦下院選挙では同様に郊外富裕区の2議席が民主党に移った。
なお, オバマ全大統領は2004年から2008年にイリノイ州選出上院議員。

【連邦政治】

- 大統領選挙人数: 20名
- 2016年大統領選挙における勝利政党:
民主党(得票率55.8%)
- 連邦上院議員
リチャード・ダービン(Richard J. Durbin)(民)
タミー・ダックワース(Tammy Duckworth)(民)
- 連邦下院議員(議席数18名)
民主党13名 共和党5名

経済

【州経済】

- 主要産業
・農業: 穀物(トウモロコシ, 大豆), 畜産(豚)
・工業: 製造業, 金融, 小売り
- GDP: 8,971億ドル(2019年)
- 1人当たり個人所得: 58,935ドル(2019年)
- 失業率: 14.6%(2020年6月)
- 輸出額: 59,924百万ドル(2019年)
- 輸出品目: 一般機械, 化学製品, 電算電子機器, 輸送用機器, 加工食品, 電子部品
- 輸出相手国(2019年):
カナダ(26%), メキシコ(16%), 豪(6%),
ドイツ(6%), 中国(5%), 日本(4%)
- 財政: (2018年度)(出典: U.S. Census Bureau)
歳入: 92,718百万ドル
歳出: 92,468百万ドル
債務残高: 67,496百万ドル
- 経済状況
全米第3の都市シカゴを擁し, ウォルグリーン, モトローラ, ユナイテッド航空, マクドナルド, ボーイング, キャタピラー, シアーズ, クラフト等多くの大企業が本社を置いている。製造業の拠点であるとともに, 世界最大級の先物取引所であるCMEグループを擁するなど金融・保険にも強みがある。またアイオワ州と並ぶトウモロコシ, 大豆の産地であり, トウモロコシベースのエタノール生産も盛ん。

【対日経済】

- 対日輸入額: 10,370百万ドル(2019年)
- 対日輸出額: 2,116百万ドル(2019年)
- 主要輸出品目: 化学製品, 電算電子機器, 一般機械, 加工食品, 輸送用機器
- 日系企業の進出数/雇用数: 約730事業所/約4万6,800人(2018年)
- 州駐日事務所あり(東京都)

日本との関係

【要人往来】

(往)06年2月, クイン副知事が外務省の招聘プログラムにより訪日。また, 日米中西部会出席のため, 知事または副知事が訪日(07年9月クイン副知事, 11年9月及び13年9月クイン知事, 17年9月ラウナー知事, 19年9月ハインズ副知事)(注: 19年9月プリツカー知事は怪我のため訪日をキャンセル)
(来)05年9月末~10月初, 常陸宮同妃両殿下が中南米ご訪問の途次にシカゴ御来訪。10年6月, 前原国土交通大臣が高速鉄道セミナー出席のためシカゴ来訪。12年5月, 玄葉外務大臣がNATO首脳会合出席のためシカゴ来訪。17年7月, 武井外務政務官がシカゴ来訪。18年5月, 蘭浦総理補佐官及び岡本外務政務官がシカゴ来訪。19年5月, 加藤自民党総務会長がシカゴ来訪, プリツカー知事と会談。

【文化, 広報関係】

シカゴ日米協会が活発に活動(1930年創設)。
イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校には東アジア太平洋研究センター, 日本館及び日本庭園があり, 日本文化関連行事の開催など活発な活動を行っている。日本庭園は, 平和テラス(シカゴ), フェニックスガーデン(シカゴ), アンダーソン日本庭園(ロックフォード), シカゴ植物園(グレンコー)にもある。

2012年の日米桜寄贈100周年記念事業では, シカゴ植物園及びスプリングフィールド市の知事公邸に苗木を寄贈。

【在留邦人数(2019年10月1日現在)】

15,491人

【日本人学校・補習校数】

全日校1校(アーリントンハイツ), 補習校2校(アーリントンハイツ, ブルーミントン・ノーマル)

【姉妹都市関係(9)】

旭川市(北海道)ーブルーミントン・ノーマル
所沢市(埼玉県)ーディケイター
大阪市(大阪府)ーシカゴ
胎内市(旧中条町)(新潟県)ーカーボンデール
宮崎市(旧清武町)(宮崎県)ーウォーカーガン
足利市(栃木県)ースプリングフィールド
滑川市(富山県)ーシャンパーグ
蟹江町(愛知県)ーマリオン
大桑村(長野県)ーシェルビービル